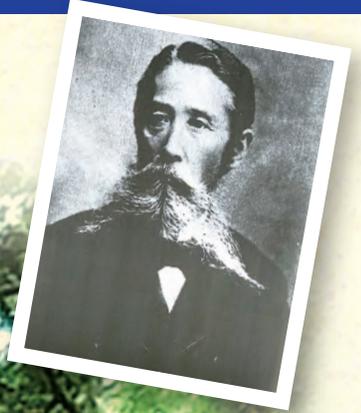


いたがきたいすけ

板垣退助BOOK

～ 言論で国を動かそうとした男～

自由は死せず！
板垣死すとも

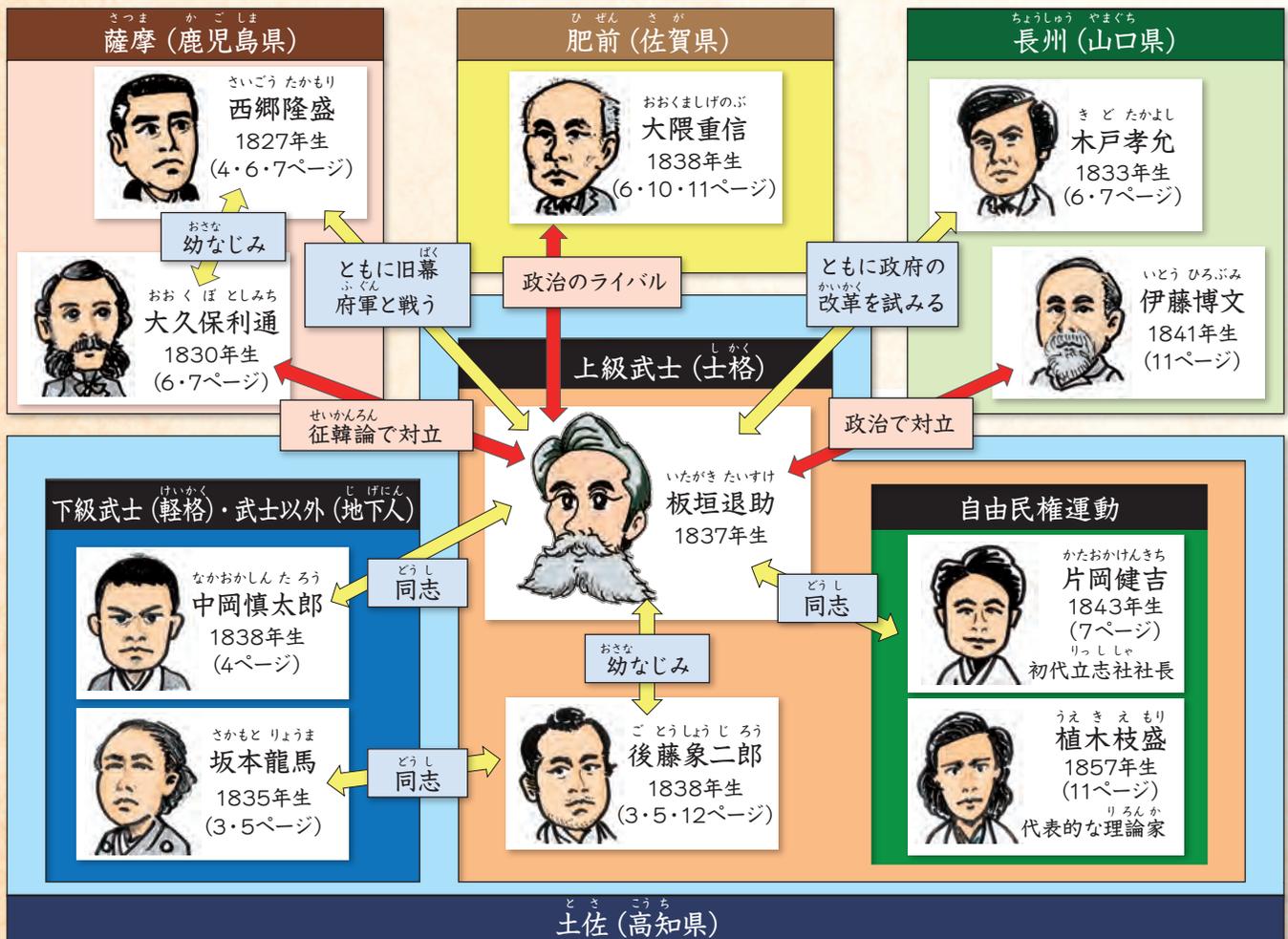


これであなとも退助博士

もくじ

- ・ 板垣退助って知っちゃう？ 1
- ・ 少年「猪之助」から侍「退助」へ 2
- ・ 江戸幕府がたおれる 倒幕運動と退助 4
- ・ 新政府による国づくりの始まり 明治政府と退助 6
- ・ 自由民権運動が広まる 退助、自由党総理に 8
- ・ 国会が開かれる その後の退助 10
- ・ 板垣退助あれこれ 12
 - その1 退助は有名ブランドのトランクを持っていた？
 - その2 明治天皇と退助
 - その3 お金はなくても、志は高く！
 - その4 全国に5つある銅像
 - その5 2回もお礼になった退助
- ・ 板垣退助 略年表 14
- ・ 高知市中心部 民権史跡案内図 16
- ・ もっと知りたい！ ～退助のことが学べる博物館・図書館～ 18

【板垣退助・人物関係図】



板垣退助って 知っちゅう?



(1837～1919)

みなさんは、「板垣退助」という人を知っていますか？

高知城の追手門おうてもんから入ると、天守に登る階段かいたんのわきに、右手を挙げた銅像が建っています。この人が、小学6年社会科歴史の教科書でも紹介しょうかいされている板垣退助です。

退助は、1837（天保8）年、高知城下にて上級武士の家に生まれ、後に江戸幕府えどばくふをたおす戦いの中で、大きな役割やくわりを果たしました。

時代は江戸から明治めいじへと変わり、明治政府が国の近代化を急速に進める中で、退助は、政府の行っている一部の役人による政治を批判し、国民が選ぶ議会（国会）の開設を求める意見書を政府に提出しました。それ以後、国会開設や憲法制定けんぽう、税の負担軽減ふたん、外国との不平等条約改正などを求める自由民権運動じゆうみんけんうんどうが全国へと広がりました。

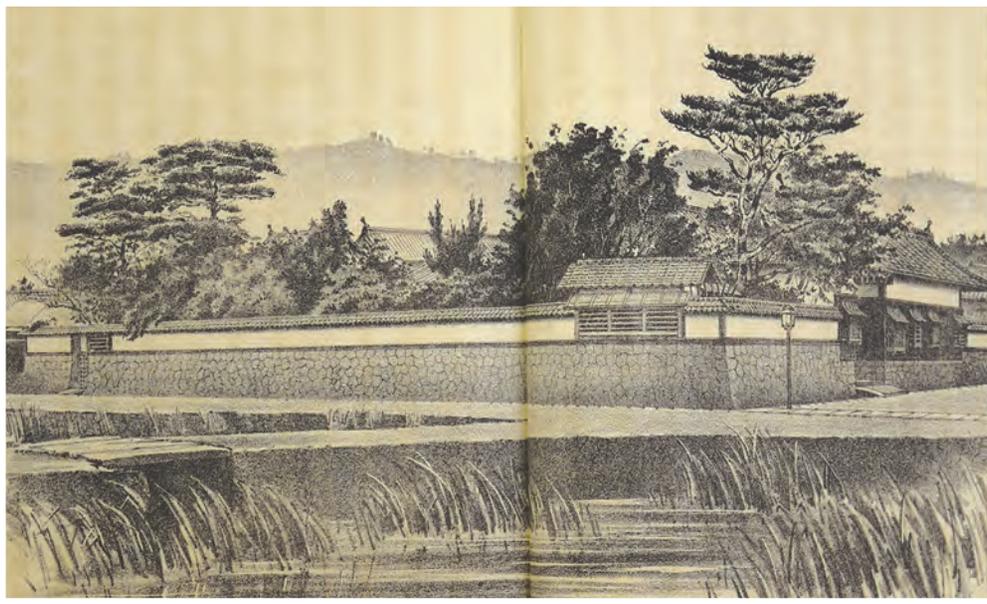
退助は運動の指導者となり、1881（明治14）年、日本で初めての政党である自由党じゆうとうができると、その総理そうり（党首とうしゅ）に選ばれました。

この自由民権運動は、国民に自由や権利けんりに対する意識を広め、日本が東アジアで初めて、憲法を制定し、国会を開いた国となる原動力となりました。

このように、退助の働きは近代国家の成立に大きな影響えいきょうをあたえました。江戸時代では民衆みんしゅうを支配する立場にあった退助が、明治時代になって、民衆の自由や権利をうったえるようになったのは、どうしてでしょう。

退助の生涯しょうがいを通して、この時代の歴史を見ていきましょう。

少年「猪之助」から侍「退助」へ



いたがきたいすけくんでん だいいつかん しょしゅう こうちしりつじゆうみんけん きねんかんぞう
『板垣退助君伝 第壹巻』所収 (高知市立自由民権記念館蔵)

この大きなお屋敷は、私の生まれた家です。



退助はどんな子どもだったのでしょうか。

退助の生まれた場所を、さがしてみよう。



1837年5月21日(天保8年4月17日)、退助は高知城下で「乾家」の長男として生まれました。この乾家は、代々「馬廻」という、土佐藩(高知県)の中で上級武士に当たる家柄で、退助の幼いころの名は「猪之助」といいました。

退助は勉強よりもけんかやすもう、闘犬や闘鶏などの勝負事が大好きな少年で、いわゆる「がき大将」でした。

退助は乱暴がすぎて、高知城下や近郊4か村への立入禁止といった処分を受けることもありました。そのときに住んでいた場所は、現在の高知市神田です。そこには記念碑が建てられています。(下写真)

やがて、乾家をついだ退助は、免奉行(年貢などを管理する役目)となり、その翌年には江戸での勤務を命じられました。そして、土佐にもどってきてからも町奉行やお目付け、仕置役といった、重要な役職を務めました。



キーワード
上級武士

● 土佐藩の武士（格式と役職）

土佐藩では、武士の家に付く「格式」と、藩の中での役目や仕事である「役職」が複雑に組み合わさって、上下関係が決まっていました。

この表は『土佐藩』（平尾道雄著）などを参考に作成しています。

区 分	格 式	役 職	主な人物・家
上級武士 (士格) 藩の政治の中枢を担いました。	家老 中老 馬廻 小姓格 新小姓 留守居組	藩の政治をまとめる奉行職や、江戸で藩主を助ける近習家老など 仕置役や藩主の側用役など 免奉行や郡奉行のほか、江戸留守居役など 高知城内や江戸・京都藩邸での業務のお世話など 高知城の警備など	・野中兼山 (家老) ・板垣退助 (馬廻) ・後藤象二郎 (馬廻)
下級武士 (軽格) 藩の政治の実務を支えました。	白札、郷士、用人、歩行、足軽、その他		・武市半平太 (白札) ・坂本家 ※ (郷士)

※ 坂本龍馬の家

● 退助の生まれたまち

退助の生まれた家は、高知城下の中島町という所がありました。現在、高野寺というお寺の前にその記念碑があります。



退助の家は、このあたりにありました。

「高知市街全図」（高知市立市民図書館蔵）1878（明治11）年3月刊行



板垣退助生誕地碑（高野寺前）

高野寺の近くにある天神橋商店街では、毎年5月に退助を記念するイベントが行われています。



● 退助の幼なじみ 後藤象二郎

退助とは歳も家も近かったき、幼いときからおたがいに「いのす（退助）」「やす（象二郎）」と呼びあう仲やったがよ。けんど、けんかをしたとき、わしのきらいなへびを投げつけてきたき、わしは道に落ちちゅう馬糞を投げつけちゃったがやき。



(1838~1897)
 高知県立歴史民俗資料館画像蔵

江戸幕府がたおれる 倒幕運動と退助



「戊辰戦争従軍土佐藩兵」(個人寄託/高知市立自由民権記念館保管)

この写真は、会津(福島県)での戦いの後、東京で写したもので、中央にすわっているのが私です。



江戸幕府をたおす戦いの中で、退助はどんな役割を果たしたのでしょうか。

退助たちが、戊辰戦争へ出陣した場所をさがしてみよう。



キーワード
戊辰戦争

1853(嘉永6)年のペリー来航以降、日本は国内外の問題で大きくゆれ、江戸幕府の力が弱まります。土佐藩でも、幕府への対応などについて、意見がわかれる中で、退助は、中岡慎太郎の紹介で薩摩藩(鹿児島県)の西郷隆盛と会合し、武力で幕府をたおす約束をしました。

1868(慶応4)年、戊辰戦争が始まると、土佐藩は新政府軍側に参加し、退助は土佐藩部隊「迅衝隊」の大隊司令として出陣しました。

江戸に向かう途中、退助は「私は甲州(山梨県)の戦国武将武田信玄の重臣「板垣信形」の子孫である。」として、「乾」から「板垣」へと改姓します。これによって、甲州では、土佐藩に味方をする人たちが集まりました。

戦いは東北地方から北海道へと移りましたが、退助たちは会津での激戦の後、東京(江戸から改称)に戻り、土佐藩の船「夕顔」に乗って土佐に帰りました。

● 戊辰戦争とは

1868（慶応4）年から約1年半にわたり、
鳥羽・伏見（京都府）や江戸、東北地方、函館（北海道）にかけて旧幕府軍及びそれを支持する東北諸藩と、新政府軍との間で行われた戦いのことです。

1868年が干支で戊辰の年に当たることから、戊辰戦争と呼ばれています。



迅衝隊の行軍ルート図

- 進行路
 - 宿泊地
 - ⊗ 主な戦場
- （日付は慶応4・明治元年のもので、本隊の到着日）

この地図は『東征記』（個人寄託／高知市立自由民権記念館保管 片岡家資料）をもとに作成しています。

● 退助たちが出陣した場所

退助は、迅衝隊約600人とともに致道館を出陣しました。致道館とは、土佐藩の学校として1862（文久2）年に設立された文武館を改称したもので、現在、高知県立武道館の前に、その門が残っています。



● 土佐藩船「夕顔」

土佐藩が、イギリス商人から買った蒸気船です。1867（慶応3）年、後藤象二郎が坂本龍馬とともに、長崎から京都へと向かうときにも、この船に乗りました。



ゆうがおかんえまにいだ 夕顔艦絵馬（仁井田神社所蔵／高知市立自由民権記念館保管）



にっこう とおぎ 日光の退助象（栃木県日光市）

● 会津での思い

退助は、会津での戦いで、次のような思いを持ちました。

「大きな力を持った会津藩だったけれども、戦ったのは武士だけ。もし、会津の民衆が武士たちとともに戦っていたら、私たちはこんな短い期間では、会津藩を攻略できなかっただろう。豊かで力強い国家をつくるためには、国民すべてを平等にして、国民が政治に参加する世の中にあらため、国民が一致団結して国につくすことが大事なのだ。」

この思いは、後に自由民権運動や社会改良運動に取り組む中でも、退助の胸の中であり続けました。

新政府による国づくりの始まり

明治政府と退助



1873(明治6)年、
朝鮮との国交問題に
ついて、議論をして
いる様子です。私は、
左側にすわっていま
す。



錦絵「征韓論之図」(高知市立自由民権記念館蔵)

? 退助は、新しい政
府で、どのような働き
をしたのでしょうか。

退助と西郷たちが
高知で出会った場所
をさがしてみよう。



キーワード
征韓論

1871(明治4)年、退助は西郷隆盛や木戸孝允、大隈重信とともに、明治政府の「参議」という、国の政治に関する事柄を考える重要な役目につきました。

政府の中で、当時鎖国をしていた朝鮮に対して、武力を用いてでも国交を認めさせようという主張(征韓論)が起きました。

西郷は、自分が使者として朝鮮に行くことを主張し、退助もそのことに賛成しました。しかし、海外視察から帰国した大久保利通たちから、国内の改革を優先するべきだとして反対されました。そのため、退助は、西郷とともに参議の職を辞めました。

政府を去った退助は、1874(明治7)年、一部の役人が行う専制政治をやめ、国民の選ぶ議員による議会(国会)をつくるよう、政府に求めました。

このことが自由民権運動の始まりとなりました。

● 退助と西郷たちとの会談の地

1871（明治4）年、鹿児島藩・山口藩・高知藩※の三藩が協力して天皇を助け、明治の改革を進めていこうと、西郷隆盛や大久保利通、木戸孝允といった各藩の主要な人物が高知を訪れ、退助と会談を行いました。

この会談で、三藩から天皇を守る兵（御親兵）を差し出すことが決まり、その兵力を背景に廃藩置県が行われました。

会談が行われた場所（現在の東九反田公園）には、1866（慶応2）年、西洋の技術や知識の導入、藩内の産業育成などを目的につくられた「開成館」という土佐藩の機関がありました。

1874（明治7）年には、政府を辞めて高知に帰った退助が、後に自由民権運動の中心的な組織となる「立志社」や、士族の子弟たちを教育するための学校「立志学舎」を置きました。

※高知藩は、廃藩置県によって、高知県となりました。



開成館本館（明治10年代『図録高知市史』より）



西郷隆盛
(1827~1877)
鹿児島県



大久保利通
(1830~1878)
鹿児島県



木戸孝允
(1833~1877)
山口県

（『国立国会図書館デジタルコレクション』より）



憲政之祖国碑（東九反田公園内）

● 海外視察に行った土佐人



片岡健吉 (1843~1903)

高知市出身。戊辰戦争では退助の部下として活躍しました。

退助とともに政府を辞め、初代立志社社長となりました。後には衆議院議長も務めました。

片岡健吉は、戊辰戦争に参加した後、1871（明治4）年、アメリカやヨーロッパへ視察に行くよう政府から命じられました。右の2つの写真を見比べると、健吉の姿が大きく様変わりしています。

健吉は、視察先のアメリカやイギリスなどで学校、新聞社、裁判所や工場などを見学し、その進んだ文明を肌で感じました。そして、日本にもどった後は、退助とともに自由民権運動の中心人物の一人として、活躍しました。



戊辰戦争時。一番右が健吉。



視察時。一番右が健吉。

自由民権運動が広まる 退助、自由党総理に



にしき え いたがきくんそうなんの す こうち しりつじ ゆうみんけん きねんかんぞう
錦絵「板垣君遭難之図」(高知市立自由民権記念館蔵)

1882(明治15)年、
岐阜 岐阜親会
の懇親会の帰りに私がおそわれる
事件がありました。



おそわれたとき、
退助は何とあったので
しょうか。

高知ではどんな
運動が行われてい
たのか、調べてみ
よう。



キーワード

自由党

1874(明治7)年、高知に帰った退助は「立志社」
を設立しました。1877(明治10)年、九州で士族の反乱
(西南戦争)が起こりました。その最中に立志社は、国
会の開設や税の負担軽減、不平等条約の改正などを求め
る意見書を政府に提出しました。

自由民権運動が全国に広まる中、1881(明治14)年、
政府は10年後の国会開設を約束しました。自由民権運
動に取り組む人々は、「自由党」という政党をつくり、退
助はその総理(党首)に選ばれました。

自由党は、全国各地で演説会を行うとともに、新聞を
発行しました。そして、憲法の制定や国会の早期開設、
農民や商工業者の自由な発展などをうったえました。

一方で、政府は集会や出版といった表現の自由に対し
て、厳しい取りしめりを行いました。活動資金の不足や
一部の党員たちの過激な行動などもあって、自由党は、
わずか3年で解党してしまいました。

●「板垣死すとも、自由は死せず！」

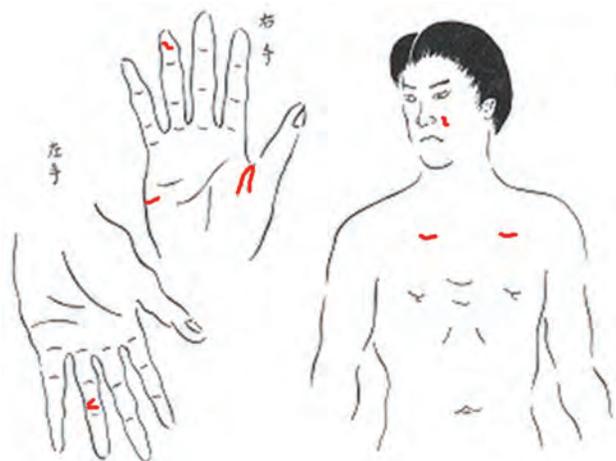
1882（明治15）年、岐阜で行われた自由党懇親会会場の玄関先で、退助は、短刀を持った男におそわれました。このとき退助が発したのが「板垣死すとも、自由は死せず。」という言葉でした。

男はすぐに取りおさえられ、退助も命に別状はありませんでした。このときの、退助のけがの様子は右図のとおりです。

また、このとき退助をおそった男が持っていた短刀（下写真）は、高知市立自由民権記念館に保管されています。



「板垣総理被害短刀」
（高知市立自由民権記念館蔵）



「退助負傷図」（『自由民権機密探偵史料集』より）

● 高知の自由民権運動

懇親会に行こう！

演説会は政府の取りしまりが厳しいため、自由民権運動の演説と飲食を合わせた会費制の集会在、高知県各地でたびたび開かれました。

これが懇親会で、すもうや狩りなど楽しみを加えることもあり、「自由」と大きく書かれた旗を持った人などが多数参加しました。



「懇親会席上演説絵馬」
（安芸市枅ノ木仁井田神社所蔵）

新聞の葬式？

政府が表現の自由をおさえこむためにつくった法律により、高知新聞が発行禁止になった、1882（明治15）年7月14日、抗議の意味をこめた「新聞の葬式」が行われました。

発行禁止となった新聞を入れたひつぎは、僧侶や記者、愛読者たちとともに青柳橋をわたり、五台山のふもとで火葬されました。



高知新聞の葬式広告
「高知自由新聞」1882（明治15）年7月16日

（訳） わたしたちの高知新聞が
一昨日十四日午後九時に亡く
なったため、本日午後一時に葬
式を行います。愛読者のみなさ
んはぜひ参加してください。
高知新聞の親友
高知自由新聞社より

国会が開かれる その後の退助たいすけ



錦絵「帝国議会衆議院銘鑑」(高知市立自由民権記念館蔵)

私たちの求めた国会（帝国議会）の開設が実現した様子をえがいています。



国会が開かれた後、退助はどうしたのでしょうか。

高知でつくられた憲法案と、大日本帝国憲法を比べてみよう。



キーワード

民間でつくられた憲法案

1889（明治22）年、「大日本帝国憲法」が公布され、貴族院と衆議院の二院制をとる国会（帝国議会）が開かれるようになりました。

退助は、国会議員にはならず、政党間の調整や新しい政党の総理になるなど、国会の外で活動を続けました。

1896（明治29）年と1898（明治31）年に2回、退助は内務大臣になりました。2回目は、大隈重信を総理大臣とする日本で最初の政党内閣で、大隈と板垣の名前を取り、「隈板内閣」と呼ばれています。

憲法と議会による政治の形はできたと感じた退助は、日本の社会をより良くするためのさまざまな意見を発表しました。

その内容は、外交や軍事問題をはじめ、労働者や農民の救済、家族や家庭のあり方から、刑務所に入っている女性の子どもの保育まで、はば広いものでした。

退助は、1919（大正8）年、83歳で亡くなりました。

こっかいぎじどう

● 国会議事堂にある3人の銅像

東京にある国会議事堂の中央広間には、退助をふくめ、日本の議会政治の基礎づくりに大きな働きがあった3人の銅像があります。

【大隈重信】 1882（明治15）年、立憲改進黨という政党をつくり、1898（明治31）年、日本で初めての政党内閣（政党から内閣総理大臣や大臣を出して組織する内閣のこと）の内閣総理大臣を務めました。

【伊藤博文】 大日本帝国憲法をつくるときの中心人物で、日本で最初の内閣総理大臣を務めました。

ちなみに、中央広間には4つ台座がありますが、一つは銅像がありません。これは、4人目をまだ選べていないためですが、「政治に終わりはない。」という意味もあるといわれています。



左から退助、大隈重信、伊藤博文（参議院事務局提供）



4人目の台座はだれでしょう。

● 高知でつくられた憲法案



うえき えもり
植木枝盛（1857～1892）

高知市出身の自由民権運動を代表する理論家。退助の子どもの家庭教師をした経験もあります。

どうようだいにほんこくこっけんあん
「東洋大日本国々憲案」

この憲法案は、枝盛が1881（明治14）年の夏に、自宅の書齋で書いたことが、彼の日記でわかっています。

220の条文で構成され、人は生まれながらにして、自由かつ平等であることを基本としており、政府に抵抗し、革命を起こす権利まで認めていました。

このほかにも、立志社の憲法案である「日本憲法見込案」もつくられました。

これらの憲法案の複製は、高知市立自由民権記念館に展示されています。



枝盛の書齋
（高知市立自由民権記念館常設展示室）



「東洋大日本国々憲案」にある国民の権利

- ・ 日本国家は、国民の自由権利をなくすような法律をつくり、行ってはならない。
- ・ 日本国民は、法律の下において平等であり、思想、信教、学問、言論、出版、集会、結社、住居、通信、旅行、職業選択などの自由をもっている。
- ・ 日本国民は、法律によらないでつかまえられたり、刑罰を科せられたりすることはない。

板垣退助あれこれ

ここでは、退助にまつわる、いくつかのエピソードをご紹介します。



その1 退助は有名ブランドのトランクを持っていた？

1882（明治15）年、岐阜でおそわれたときのけががなおった退助は、友人の後藤象二郎にさそわれて、ヨーロッパへの視察旅行に出かけました。

そして、1883（明治16）年1月9日、退助はフランスのパリで、ルイ・ヴィトン社製のトランクを買いました。トランクの上部にはアルファベットで大きく“ITAGAKI”（いたがき）と書かれています。



ルイ・ヴィトン社製トランク
（個人寄託／高知市立自由民権記念館保管）

退助は、ヨーロッパで買った大量の本を、このトランクに入れて、持ち帰ったといわれています。



その2 明治天皇と退助

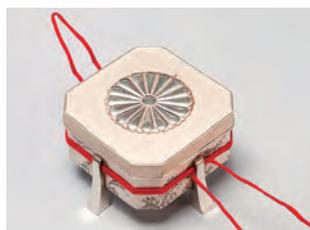
1882（明治15）年、退助がおそわれたことを知った明治天皇は、「退助は国家につくした人だから、放ってはおけない。」といって、お見まいの使者を出しました。

また、1887（明治20）年、「伯爵」という爵位を受けることになった退助は、2回にわたってこれを辞退しようとしていました。

このときも、明治天皇から退助に「あなたの忠節※を忘れてはいない。こころよく受けてほしい。」というメッセージが伝えられました。

このように、明治天皇は退助の人柄を愛し、その働きを高く評価していました。

退助は皇室のお祝い事にもたびたび出席しました。そのときに贈られた記念品の中には、かわいいボンボニエール（おかし入れ）もありました。



さまざまなボンボニエール
（個人寄託／高知市立自由民権記念館保管）

※主君への忠義をかたく守ろうとする気持ち。（『大辞泉』より）



その3 お金はなくても、志は高く!

退助は裕福な家に生まれたにも関わらず、自由民権運動にお金を使って、すっかりその財産を失ってしまいました。

1887(明治20)年5月28日付けの『大阪日報』の記事によると、このころの退助の全財産は、「猟犬2匹、家鴨20羽、猟銃2挺」だけになっていました。

そんな苦しい生活であっても、退助は常に自分が正しいと信じた道を歩んでいきました。



その4 全国に5つある銅像

退助の銅像は、高知公園(高知城)にある銅像をふくめて、日本国内に5つあります。

- ① 日光の退助像(栃木県日光市)
戊辰戦争のとき、退助が日光を守った。
- ② 国会議事堂の退助像(東京都千代田区)
退助が日本の議会政治の基礎をつくった。
- ③ 青梅の退助像(東京都青梅市)
青梅の人たちが退助を慕ってつくった。
- ④ 岐阜の退助像(岐阜県岐阜市)
退助がおそわれた事件があった。
- ⑤ 高知の退助像(高知県高知市)
退助が高知出身だった。



その5 2回もお札になった退助

退助は、お札の図柄に2回選ばれました。その裏側は、2回とも国会議事堂でした。



五拾銭札 1948(昭和23)年発行



百円札 1953(昭和28)年発行

時代	えど 江戸																					
年	1850						1860						1870									
板垣退助に関する事	● 乾家の長男として生まれる (1837)			● 江戸勤番となる (1855)	● 不作法の行いがあり、城下及び四か村へ立入禁止となる (1856)		● 乾家をつぐ。免奉行となる (1860)			● 町奉行、大目付となる (1864)			● 騎兵修行のため、江戸へ行く (1866)	● 土佐藩の兵制改革を手がける (1867)	● 土佐藩の兵制改革に参加する (1868)	● 東京に帰り、記念写真をとる (1868)	● 高知藩大参事に任命される (1870)	● 西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允と高知で会談 (1871)	● 明治政府の参議となる (1871)	● 参議をやめる (1873)	● 国会開設を求める意見書を政府に提出 (1874)	※ 自由民権運動がはじまる (1874)
	年齢	1	17	18	19	20	22	24	25	27	28	29	30	31	32	34	35	36	37	38		
	日本のできごと		○ペリーが浦賀に来る (1853)	○江戸幕府、日米和親条約を結ぶ (1854)			○江戸幕府、日米修好通商条約を結ぶ (1858)		○武市半平太たちが土佐勤王党を結成 (1861)	○武市半平太や土佐勤王党の人たちがつかまる (1863)		○武市半平太たちが処刑される (1865)		○徳川慶喜、政権を天皇に返す (1867)	○五か条の御誓文が発表される (1868)	○元号が「明治」となる (1868)	○戊辰戦争 (1868~1869)	○岩倉具視を大使とする使節団が東京を出発 (1871)	○廃藩置県が行われる (1871)	○明治政府が学校制度をつくる (1872)	○朝鮮との外交問題をめぐって政府が分れつ (1873)	○高知に「立志社」が設立される (1874)

1880

1890

1900

1910

● 中島町の家から潮江新田の家に移る (1877)

● 「自由党」が結成され、総理となる (1881)

● 後藤象二郎とともにヨーロッパへでかける (1882)
 ● 岐阜で演説会の帰りにおそわれる (1882)

● 伯爵となる (1887)

● 再度結成された「自由党」の総理となる (1891)

● 第二次伊藤内閣の内務大臣となる (1896)

● 日本で初めての政党内閣が成立し、内務大臣となる (1898)

● 高知で「社会改良会」を結成、総裁となる (1907)

● 大正最初の近代化に貢献 (1909)

● 『社会政策』を発行し、社会問題について意見を発表 (1911)

● 台湾を2度訪問し、人権問題解決に尽力 (1914)

● 死去 (1919)

41

45

46

49

50

51

53

54

55

58

60

62

68

71

73

74

75

78

83

○ 西南戦争 (1877)

○ 立志社が意見書を政府に提出 (1877)

○ 明治政府が10年後の国会開設を約束 (1881)
 ○ 植木枝盛が「東洋大日本国々憲案」を作成 (1881)

○ 大隈重信が「立憲改進黨」を結成 (1882)

○ 伊藤博文が初代内閣総理大臣となる (1885)

○ ノルマントン号事件が起こる (1886)

○ 大日本帝国憲法が公布される (1889)

○ 第一回帝国議会議が開かれる (1890)

○ 日清戦争 (1894～1895)

○ 日本で初めての政党内閣が成立し、大隈重信が内閣総理大臣となる (1898)

○ 日露戦争 (1904～1905)

○ 国技館が開館 (1909)

○ 朝鮮を併合する (1910)

民権史跡案内図



泥めんこ「自由」板垣」の文字がある自由民権記念館常設展示より



19 立志社跡 明治時代の立志社社屋

「自由は土佐の山間より」の言葉が表すように、土佐（高知県）は自由民権運動が始まったところです。高知市内には、退助をはじめ、民権運動に関する史跡がたくさんあります。

これらの史跡について、高知市立自由民権記念館でくわしく調べることができます。



01 植木枝盛生誕地



01 植木枝盛生誕地



04 植木枝盛旧邸跡



05 開成門



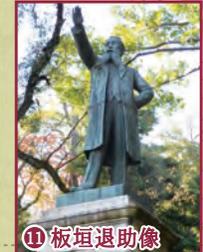
06 致道館並陶治学校跡



18 後藤象二郎生誕地



16 板垣退助生誕地



11 板垣退助像



32 楠瀬喜多の墓



17 片岡健吉生誕地



12 片岡健吉像





25 龍乗院



24 開成館跡・憲政之祖国碑



27 板垣退助帰朝記念碑



26 27 丸山台 浦戸湾における板垣退助帰郷歓迎風景



29 「新聞の葬式」案内板



28 板垣退助邸跡



高知市立自由民権記念館



もっと知りたい! ~退助のことが

この本を読んで、退助のことをもっとくわしく調べてみたいときは、次の博物館や図書館や図書館には、歴史や本のことについて、くわしく教えてくれる専門の職員(博ぜひ、声をかけて質問をしてみてください。

■ 高知市立自由民権記念館

調べること 自由民権運動の歴史はもちろん、退助をはじめ、自由民権運動に参加した人たちや、土佐の歴史についても調べることができます。

開館時間 午前9時30分～午後5時

休館日 月曜日、祝日の翌日、祝日が月曜日と重なる場合にはその翌日、12月27日～1月4日

展示観覧料 高校生以下無料

住所 〒781-8010 高知市棧橋通四丁目14-3

電話 088-831-3336

FAX 088-831-3306

ホームページ <http://www.i-minken.jp/>



■ 高知県立高知城歴史博物館

調べること 土佐藩の歴史やその仕組み、また武士のくらしなどについて、くわしく調べることができます。

開館時間 月～土 午前9時～午後6時
日 午前8時～午後6時

休館日 年中無休

展示観覧料 高校生以下無料

住所 〒780-0842 高知市追手筋二丁目7-5

電話 088-871-1600

FAX 088-871-1619

ホームページ <https://www.kochi-johaku.jp/>



■ 高知県立歴史民俗資料館

調べること 退助が生まれた江戸時代から現代まで、高知県の歴史について調べることができます。

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 年末年始(企画展等入替時は臨時休館・休室する場合があります。)

展示観覧料 高校生以下無料

住所 〒783-0044 南国市岡豊町八幡1099-1

電話 088-862-2211

FAX 088-862-2110

ホームページ <http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/>



学べる博物館・図書館～

書館に行ってみましょう。
物館は学芸員、図書館は司書(がくげいいん ししょ)といひます) がいます。

■ 高知市立龍馬の生まれたまち記念館

調べること 龍馬や退助が子どものころの町の様子などを調べるができます。

開館時間 午前8時～午後7時

休館日 年6日(HPを御覧下さい)

展示観覧料 高校生以下無料

住所 〒780-0901 高知市上町二丁目6-33

電話 088-820-1115

FAX 088-822-1835

ホームページ <http://ryoma-hometown.com/>



■ 高知市春野郷土資料館

調べること 退助が免奉行を務めていたころの古い文書を見ることができます。

開館時間 火～金 午前10時～午後6時
土・日 午前10時～午後5時

休館日 月曜日、毎月第3金曜日(8月を除く)、祝日、12月29日～1月4日、3月中4日の範囲内

展示観覧料 無料

住所 〒781-0304 高知市春野町西分340

電話 088-894-2805

FAX 088-894-2812

ホームページ <http://www.city.kochi.kochi.jp/deeps/20/2019/muse/harunoshiryokan.html>



■ オーテピア高知図書館

調べること 退助や土佐藩、日本の歴史などに関する図書を借りることができます。

開館時間 火～金 午前9時～午後8時
土 午前9時～午後6時
(7・8月は午後8時まで)

休館日 日・祝日 午前9時～午後6時
月曜日(祝日の場合は開館)
毎月第3金曜日(8月及び祝日を除く)
8月11日を含む4日間、12月29日～1月4日

施設利用料 無料

住所 〒780-0842 高知市追手筋二丁目1-1

電話 088-823-4946

FAX 088-823-9352

ホームページ <https://otepia.kochi.jp/libraly/>



いたがきたいすけ
板垣退助BOOK
～言論で国を動かそうとした男～

● 協力

この本の編集・改訂に当たり、以下の先生に御協力をいただきました。(五十音順、敬称略)

編集 おがわあきこ みかづき 小川晶子 (初月小学校教頭)・ながまちよしたけ いっく 長町吉剛 (一宮小学校教諭)・やまもとみきたけ おおつ 山本幹丈 (大津小学校教諭) ※平成30年度
改訂 いとうつよし あさひ 伊藤強 (旭小学校教諭)・しょうわ 小川晶子 (昭和小学校校長)・くもんたく 公文拓 (昭和小学校教諭) ※令和3年度

● 参考とした図書

- ・『板垣退助 — 板垣死すとも自由は死せず —』
こうち しりつじ ゆうみんけん きねんかん (高知市立自由民権記念館 開館5周年記念特別展解説図録)
編集・発行 高知市立自由民権記念館
- ・『板垣退助愛蔵品展 — “板垣死ストモ” 時空を超えて —』
編集・発行 高知市立自由民権記念館
- ・『立志社 — その活動と憲法草案 —』
りっししゃ (高知市立自由民権記念館 平成10年度特別展図録)
編集・発行 高知市立自由民権記念館
- ・『板垣退助君傳記』でんき 第一卷～かん 第四卷
そうめい うだともいちよ くもん ごうこうてい はらしょぼう 滄溟・宇田友猪著 公文 豪校訂 原書房発行

編集・発行

高知市立自由民権記念館
さんばしどおり
高知市棧橋通四丁目14番3号
電話：088-831-3336

2021 (令和3) 年9月発行



こうち しりつ じゆうみんけん きねんかん
高知市立自由民権記念館



自由民権記念館

〒781-8010 高知市^{さんばしどおり}棧橋通四丁目14番3号
TEL 088-831-3336 FAX 088-831-3306
ホームページ <http://www.i-minken.jp/>